

GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580
ガバナー月信

11

NOVEMBER 2019 Vol.5

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212
E-mail: office@rid2580.org URL: https://www.rid2580.org/



四分の一を折り返しました

国際ロータリー第2580地区

2019-20年度ガバナー

新本 博司

ガバナーになって4か月を終えて、5か月目に入りました。10月7日には地区連絡会を行いました。ガバナー補佐、地区委員会、地区大会実行委員会の地区チームが情報を共有し、マローニー国際ロータリー会長の言うところの「皆で手を取り合って」進んでいくようにと願っております。地区連絡会での委員会からの報告を、ここにご紹介いたします。

地区大会実行委員会は、10月4日に各クラブに地区大会のご案内と登録用紙をお送りいたしました。ご覧いただき、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。来年2月12日、13日の地区大会に先立ち、2月11日（火/祝日）12時～18時半にはロータリーデーを県庁前の「パレットくもじ前広場」で行います。対象者は地域住民および国内・海外からの観光者で、ロータリーの諸活動を広くPRする、ロータリーの認知度を高めるための試みです。

ロータリアンと青少年による清掃活動と並行して、会場にはテントを4～5張り用意し、中に2ブースずつを前提に、パネル展示やパンフレット配布等でPR活動を計画していますので、地区委員会、分区、クラブ毎のブースの出店をぜひお願いいたします。物産展の出店も期待しております。クラブにご郵送したリーフレットに、沖縄生まれのVチューバー（アニメのキャラクター）が載っていたことにお気づきでしたでしょうか。



9月22日 青少年交換帰国報告会

家族を大切にするロータリーのコンセプトで、どの年代にも親しみやすさを感じていただけるように漫画やアニメを使って家族で楽しめる大会を計画しております。ご家族での参加をお待ちしております。

地区クラブ奉仕委員会は「ブランディング」、それぞれのクラブ「らしさ」を取り上げてきました。2月4日に東京で、2月12日に沖縄で、クラブ奉仕委員長報告会を開催し、各クラブの「キャッチコピー」を発表していただく予定です。クラブの共通認識として、誰もがこのキャッチコピーを理解している、ということが大事だと思われま。 「らしさ（他のクラブとは異なる独自性・個性・特徴）」を発見し、作り出すことを推進する目的で、11月20日締め切りのアンケートを各クラブに既にお送りしております。クラブ奉仕委員長報告会を受けて、その結果をガバナー月信4月号で詳しく報告いたします。

地区職業奉仕委員会は、職業人であるために事業を継承せねばならないということから、今年度は

「事業承継」を取り上げております。3回のセミナーを計画し、8月21日は上山パストガバナーを講師に迎え「中小企業の事業承継について」、法務・税務両面からの検討を行いました。10月2日は奥村昭博氏（慶應義塾大学名誉教授）から「事業承継に関するマネージメント」についてお話しいただきました。3回目は1月24日に、「Being Management ～イノベーションなくして事業承継なし～」を題材に渡辺雅司氏（株式会社船橋屋 代表取締役）にご講演いただきます。ただいま登録を受け付けております。

地区国際奉仕委員会からは、9月28日に仙台で第15回日韓ロータリー親善会議が「逞しき復興への架け橋」をテーマに開催されたことが報告されました。韓国からは230名、日本からは460名、来賓10名の総勢700名が参加し、予想を遥かに超える参加者となったため、急遽開催場所を変更し、晚餐会は4会場に分かれての開催となりました。「奉仕の実践/平和で明るい未来」を実践して、世界平和の実現に向けて歩んでいきたいと思っております。

8月には各クラブ会長・幹事・国際奉仕委員会に向けてアンケートをお願いいたしました。ご協力いただきありがとうございました。

地区青少年奉仕委員会からは、青少年奉仕関連の報告が幾つかなされました。

11月14日の地区研修会は、青少年奉仕がテーマとなります。12月10日は、沖縄開催地区研修会と併せて青少年奉仕全体会議（沖縄）を計画しております。青少年交換については、別途項目を設けて9月22日の第54期青少年交換学生帰国報告会の様子を下に報告しておりますのでご参照ください。2月11日には学友の集い（沖縄）を行いますので、クラブから関係を継続している学友たちに参加のお声がけをお願いいたします。5月には在京の学友の集いを計画しております。また1月17～19日にRYLAを行います。受講生を推薦いただきました各クラブの皆様、ご協力いただきありがとうございました。

地区ロータリー財団委員会からは、当地区71クラブの前年度寄付実績の分析結果共有と、今年度の活動進捗の報告がありました。今年度の寄付状況

は、8月末締め、11月末締め、1月17日締め、3月末締め、6月末締めの5回、各クラブにお送りいたしますので、クラブロータリー財団委員長の皆様にご活用いただきたくお願いいたします。10月24日の世界ポリオ根絶特別プログラムが配信されました。世界中でポリオ根絶活動を応援する活動やイベントが実施されております。皆様のクラブでも実施なされたイベントがあれば以下のリンクから、紹介いただきますようお願いいたします。2019年いっぱいの活動が対象です。

<https://on.rotary.org/2ONBEvY>

地区米山奨学委員会からは、奨学金の対象者は全国で約6万5000人、当地区にその内20%が集まっています。当地区が頑張らないといけません。特別寄付に関して言えば、当地区は20%の約700名しかありません。米山梅吉記念館見学/創立50周年記念式典/祝賀会については、下に別途項目を設けて書いておりますので、そちらをご覧ください。

地区国際大会参加推進委員会からは、ホノルル国際大会の状況説明がありました。6月7日（日）19時～21時に、国際ロータリー第2580地区ガバナーナイト in Honoluluが開催されます。有名なフラダンスサーカノエ・ミラーによるフラダンスショーも予定されております。沢山の方のご参加をよろしく願いいたします。申込及び入金開始は12月2日（月）からです。詳しくは、ガバナー補佐がお渡ししたリーフレットをご覧ください。

地区公共イメージ向上委員会は、今年から独立した新委員会です。PETSを皮切りに、クラブ会長に担当者を選任いただくようお願いし、71クラブ中51クラブの担当者と当委員会が直接繋がりました（10月7日現在）。SNSを使って発信する試みを行いました。残念ながらなかなか浸透していないというのが現実です。Facebookでシェアしていただき、拡散を狙いましたが、なかなか上手くいきません。これからは、クラブで卓話をし、公共イメージについて各クラブの理解を深めていただきたいと思います。と考えております。

地区日台親善委員会は、3月6日（金）に福岡で開

催する第7回日台ロータリー親善会議の参加推進を行っております。10月15日に案内を発信いたしました。日本側から1500名、台湾側から500名の計2000名を集める目標を掲げております。どうぞ皆さま、参加をお願いいたします。2月の地区大会には、姉妹地区の第3482地区からもご参加いただけると聞いております。5月16～17日には台北で第3482地区の地区大会が行われます。

この他、**ガバナー補佐**から担当クラブに関する報告がありました。

東分区IMでロータリーデー開催!

9月21日に東分区のIM(ホスト:東京江東RC)を行い、第一部(11時～13時半)をロータリーデー(会場:東京イースト21プラザ)といたしました。地元、東陽小金管バンドの後、ロータリーバンド(各クラブ有志)、ゴスペル(たんぼぼ障がい者団体)と出し物が続きました。ロータリーバンドでは、青少年交換来日学生が飛び入りで一曲歌ってくれて、大いに盛り上がりました。体験コーナーやポリオ根絶チャリティー大ビンゴ大会も催されました。野外ブースでは、東京江戸川RCのお楽しみプレゼント、東京葛飾・東京東江戸川・東京足立RCによるポリオ根絶パネル展示、ポリオモンチッチの販売と募金活動も行われた他、エコキャップ集め、東京江戸川中央RCの貧困問題パネル、東京臨海東RCの海水浴場復活プロジェクトパネル展示が行われ、一般の方々へのロータリーの紹介の場となりました。

第二部「青少年奉仕をファシリテートしよう」では、ローターアクター、青少年交換学生、米山奨学生、RYLA学友、インターアクターも参加して、第一セッションではそれぞれの紹介が行われました。第二セッションでは、発想デザイン研究室代表の富永良史氏をファシリテーターとして、30テーブルに青少年65名、ロータリアン230名が参加して、テーブルディスカッションが行われました。ロータリアンと青少年が向き合い、リラックスして対話をする事で、どんな場面でも対話することの大切さを感じて欲しいと企画された

ものです。その中で青少年奉仕の大切さの理解を促しました。第三部「みんなで楽しもう!大懇親会」では、深川葵太鼓のアトラクションもあり楽しい懇親会となりました。ロータリーバンドの演奏のもと、ガバナー補佐のグループ毎に青春の歌を大熱唱して、盛り上がりました。新しい試みが沢山あり、大変充実したIMでした。ロータリーデーを続けて行い、地域に根付かせていただければと思います。2月の地区大会では、沖縄でロータリーデーが催されますので、皆様でご参加いただきたいと思います。



米山梅吉記念館見学/創立50周年記念式典/祝賀会

9月7日、14日と2週続けて三島に行ってきました。9月7日は当地区の米山奨学生とロータリアンと一緒に米山梅吉記念館を訪問し、柿田川湧水清掃奉仕活動も参加して参りました。

そして14日は、米山梅吉記念館創立50周年式典への出席のために再度三島を訪れました。記念館創立50周年のお祝いと米山梅吉翁の遺徳を偲ぶために、全国から700人ものロータリアン、学友が集い盛大な式典となりました。米山奨学事業は全国34地区が合同で行っている、日本を代表する奉仕活動と強く認識いたしました。当地区からも多くの方が出席し、東京RCから始まったこの事業の意義を強く感じたものと思っております。そしてこの式典を通して、梅吉翁が東京RC創立に奔走し、戦中時のクラブ存続の苦勞、戦後の再建を待たずして他界された無念さを全国のロータリアンと一緒に心に深く留めた1日だった

と思います。また、台湾在住学友の林曼麗氏による卓話は、梅吉翁の考え方や論語の共通点を通して梅吉翁の価値観を説明された内容で、非常に面白い観点と拝聴させていただきました。日本のロータリークラブの原点である東京RC、その設立メンバー米山梅吉翁、そしてその偉業、信念を多方面からの逸話を通して聞くことにより感銘を受けた1日でもありました。ぜひ皆様にもこの機会に、米山梅吉記念館より「米山梅吉ものがたり」等の多くの書籍を取り寄せ、ご一読いただければと思います。



青少年交換帰国報告会

9月22日には、青少年交換第54期派遣学生帰国報告会と来日学生合同歓迎会が開催されました。米山梅吉翁がどのような考えで青少年育成を始めたのかを思い、また50年以上も続く青少年交換は非常に重要なプログラムであると認識しております。今年も6月に次の派遣学生(56期)が決まり、夏に54期が帰国し、来日生も到着し、派遣生と合同でサマーキャンプが催されました。

帰国報告会では10名が立派なスピーチをしてくださいました。高校生とは思えない自立した考え方を披露してくださいましたが、その陰には辛いことも沢山あったと想像します。小さな親善大使として期待されて送り出されたものの、異文化の中で言葉も通じず、大変な思いをされたことでしょう。今後はローテックス(青少年交換学友)として、辛かった経験を活かした後進の派遣生の指導、そして頑張っている来日生のサポートを期待しております。更には、ローテックスとしての活

動期間を終えたら、ローターアクターになり、そして将来はロータリアンを目指していただきたいと願っております。

青少年交換への理解のため、スポンサークラブやホストクラブ以外の方にも、帰国報告会や帰国前報告会にご参加をお願いしたいと思います。スポンサークラブ、ホストクラブとしてこの活動を支えてくださっているクラブの皆様、多大なご苦勞を掛けておりますホストファミリーの皆様に、青少年育成に多大なる貢献をしていただき、大変感謝しております。

この日は、帰国した派遣生に盾と賞状を渡し、懇親会では来年の派遣予定学生へ合格証をお渡ししました。来年の夏、大きく羽ばたいてくださることを期待していますが、彼らの派遣先は12月の懇親会で発表されます。当地区の青少年交換は、中学3年生から高校2年生で採用され、どの国に派遣されるか決まっていません。どこに行っても、そこが彼らの第二の祖国になって戻って来ます。これが平和の架け橋です。6月には、来日生の帰国前報告会も催されます。どうぞこちらへの参加も、お願いいたします。

ガバナー公式訪問(9月3日～10月10日分)

9月3日の**東京青梅RC**は「示そうロータリーの力/実践しよう超我の奉仕」の会長基本方針を掲げ、クラブロゴ入りウェアを作成して、地域イベントに参加し、知名度を高める計画とのことですので、ロータリーの認知度を上げていただきたいと希望します。地域住民の生活の質の向上を目指し、自治体、各団体からの実情、要望を聞いていくとのこと。

9月4日の**東京武蔵村山RC**のクラブテーマは「笑顔と和の心でロータリーを成長させよう」です。ロータリーの原点である繋がりを持ち、大切に、楽しく工夫を凝らした例会づくりを行い、ロータリー活動を通して会員同士の理解を深めるという考え方は、私の考えるところと全く同じです。クラブがより魅力的になれば仲間が広がり、増強の基本理念だと思います。研修でロータリーの本質を学び、クラブの活性化、地域社会への奉仕活動を実のあるものにしましょう、と

会長が語ってらっしゃいましたが、私も地域社会のニーズを汲み上げることこそが、今ロータリーに求められていることだろうと感じております。行政・学校・諸団体と連携し、少年サッカー、少年野球大会の開催を目指しています。インターアクト、ローターアクト活動支援も考慮していただいているとお聞きし嬉しく思いました。

9月5日の**東京東村山RC**は「継往開来（けいおうかいらい）～先人の事業を受け継ぎ、未来を切り開く」という会長方針を掲げていらっしゃいますが、これはまさに私が常日頃申し上げている不易流行と同じ精神だと思いました。多くの諸先輩方が50余年にわたり築いてきたクラブの精神を学び、発展させていくために尽力することと、クラブ戦略委員会を発足して、クラブビジョンを描いていくとお聞きしました。社会奉仕の事業計画の中に、東村山市民産業まつりに出店し、ロータリーのPR活動を行うとありましたが、これはロータリーデーにも繋がるお話ではないかと思いました。

9月10日は、**東京江東RC・東京ベイRC**合同例会でした。東京江東RCには、東分区IMのホストクラブをお願いしました。クラブ協議会では、各委員長が会長テーマをよく理解して活動されていると感じました。「親睦」を重視し、時代に合った改革を考えて取り組んでいるので、自信をもって進めてほしいと思います。「社会福祉フェスティバル」の取り組みは、継続し、社会奉仕、ロータリーのイメージ向上に繋げていってほしいですし、またメンバーの会社であるFM放送も活用していけば、若い世代の関心をつかめるのではないのでしょうか。フェスティバルの運営はJCと連携しているので、若いメンバーを増強し、いい方向に進んでいくことを期待しています。

東京ベイRCは、クラブのFacebookページを開設し、例会の報告や予告を投稿するなど、情報発信に積極的な印象を持ちました。ITに詳しい会員が、勉強会を開き、クラブ内でのツールにLINEやFacebookを利用しているクラブが増えている印象があります。

9月11日の**東京本郷RC**は、今年度のテーマを「一人一人との対話で友好拡大を!」としたとお聞きしました。ロータリアンとして、人と人との繋がりを強め、近隣

へ、地域へ、社会へ、と連帯の輪を広げていくためには、一人一人との対話が重要で友好を拡大していく大きな原動力になる、という意味だそうです。奉仕活動としては、中学生の職場体験、白山神社の祭礼やアジサイ祭りに出店し売上金を復興支援や希望の風に寄付、東北の少年達を招待し東京ドームでの野球を開催、20年にわたり新世代会議（文京区の中学生、高校生の父兄と地域の青少年について協議し、文化人の講演依頼等）を開催と、非常に活発な印象を受けました。

9月12日の**東京御苑RC**は、5年目の若いクラブで、直近は会員減少の建て直しであり奉仕活動が出来ていないという報告を受けました。会員の皆様だけでなく、地域に、企業に、家庭に笑顔が広がるような活動ができるクラブになりますよう「つなげよう次の未来へ」とのクラブテーマを掲げて、再建に努めていらっしゃいました。次年度から、具体的な奉仕活動に乗り出すこととお聞きして、期待しております。夜間例会に出席するのは公式訪問では初めてでしたが、素晴らしいロケーションでした。台湾出身の会員もおられて、石垣島出身の私としては親近感を覚えました。卓話では、沖縄の火の神（ヒヌカン）のこともご紹介しました。縁とは不思議なものです。一期一会の心でお付き合いが出来ることは、とても幸せに思います。

9月13日には、ガバナーエレクトが所属する**東京小石川RC**を訪問いたしました。次年度はクラブから初めてガバナーが出ることとなり、クラブ全員で支援する体制を整えつつあります。今年度創立50周年を迎える伝統あるクラブです。3月27日に東京カテドラル関口教会にて「桜花音楽祭」を予定しています。SDGsを意識し、ユネスコアジア文化センターとも協力して開催予定です。

クラブ協議会では、「こども宅食事業」「赤城山植林」「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」「青少年野球」の4つの事業について説明がありました。公共イメージ向上委員長からは、若い世代に理解しにくくなっているロータリークラブの存在を知らしめ、3月の50周年事業もイメージアップにつながることをしたいとの話がありました。大変期待しております。



9月17日はいよいよ地元沖縄のクラブの訪問、自クラブの**那覇RC**を訪問しました。那覇RCでは出席率向上を目指し出席委員会の強化を図っています。出席委員を2名増やし2週間に1度、委員会を開き休眠会員に担当を付けたり100%例会の企画などを行っています。公共イメージの取り組みとして60周年式典やガバナー就任を新聞に掲載し、地区大会の際は県庁への訪問とラジオ番組への出演を予定しております。インターアクトに関しては、高校の学園祭にブースを設置してPRしています。子供の貧困、弱者救済として児童園にパソコンなどを贈呈し今後とも続けます。国際大会ではガバナーナイトに20名以上の動員を見込んでいます。

9月18日の**那覇東RC**は設立53年のクラブですが、ビジョン策定委員会を組織するなど、将来へ向けて積極的な姿勢も見せていらっしゃいます。炉辺会合などを通じて、出席率アップ、上の世代と若い世代の融合を目指しています。活動では青少年奉仕への比重が大きく、インターアクトクラブは興南高校と連携強化中です。その他、特別支援学校体育連盟への支援、那覇青少年舞台プログラムへの支援も行っています。那覇青少年舞台プログラムへの支援品の寄贈は8月に執り行われ、マスコミへの取材依頼も同時に行って、公共イメージの向上にも努めました。

9月20日の**浦添RC**は入会5年以内会員へ、「ロータリーを知ろう!」という取り組みを行い、入会年数で3つほどの階層に分けて、月1回RLI形式のテーブルトークを行っています。遠隔地の会員もいらっしゃるため、出席率が低下傾向にあり、会員増強に取り組ん

でいます。今年度は6名増強して、40名を目指しています。35名中女性が10名で、パスト会長に女性が4名という特色あるクラブです。男性、女性と性別で発言することは時代遅れかもしれませんが、やはり女性が元気だと、クラブも元気になる様に感じます。クラブテーマは「相互理解」です。職業体験のインターシップや、昭和薬科大学付属高校とインターアクトクラブを設立しています。

9月24日は、**東京武蔵野RC**と**東京武蔵野中央RC**の合同例会に伺いました。東京武蔵野RCは、東京で7番目に創立したクラブということで歴史があり、新しい会員が、会員歴の長い会員から様々なことを学ぶことができることは、感謝すべきことであると思います。東京武蔵野中央RCは、以前は『親子でサッカー観戦』等の社会奉仕事業を行っていましたが、現在は行っていないので本年度は再開したいとのこと。クラブ協議会では、職業奉仕委員会と青少年委員会共同で、『児童養護施設児童・生徒自立サポートプログラム』実施するという報告がありました。会員増強に関しては、40代の会員を5名増強を目標にしている、現在4名は決まっているそうです。合同例会では入会式があり、私がバッジを付けました。両クラブとも米山奨学生の世話クラブなので、奨学金の授与式もありました。

9月25日の**東京福生RC**の会長テーマは「Enjoy Difference! 多様なつながりに感謝しよう」です。会長方針には「ロータリーに入会した理由は人それぞれですが、ロータリーに入会しなければ出会うことがなかった人と出会えたということは共通の事実です。生まれも育ちも職業も異なる人たちがロータリーを通じて仲間となります」とありますが、これは正にポール・ハリスが言っていることと同じ精神だと思いました。公共イメージと認知度の向上を第一の重点目標に挙げてくださり、青少年奉仕活動でも分区あげてのロータリー設立を検討してくださっていました。年度内の設立を目指しているとのことですので期待しております。福生市、羽村市、瑞穂町の二市一町におけるロータリークラブの認知度は高くはありませんが、マーケティング活動で公共イメージを高め、それが結果とし

て家族の理解を得られ、会員増強に繋がる、という考え方は、私と全く同じです。地域のイベント「七夕祭り」では、オリジナルジャンパーを着て、ロータリー幟を掲げてビール売りをしているそうです。移動の関係もあり、前夜にも会長他とお話する機会を得ました。例会はかりゆしを着てお迎えくださいました。

9月26日の**東京秋川RC**は「ロータリアンの誇りをもって貢献しよう わくわくするロータリーめざして」とのローガンを掲げていらっしゃいました。基本方針の中にも、公共イメージを加え、週報・IT・公共イメージ向上委員会があり、他委員会と連携した活動を模索していらっしゃいました。クラブの同好会は、ゴルフや鮎釣りや、秋川らしさが出ていますが、29日の夜間例会では鮎塩焼きを食べる会が催されるそうです。社会奉仕の計画にも、ヤマメの孵化放流事業を一の谷小学校と協力して行う等、独特な活動が含まれていて、面白いと感じました。

10月8日の**東京東大和RC**はRI会長テーマ、地区ターゲット、多摩分区方針「[知る]ことの大切さ」に続いて、クラブテーマ「奉仕を通じて地域をつなぐ」を掲げていらっしゃいました。来年東京RCが100周年を迎え、当クラブも再来年には50周年を迎えますが、会員数の減少に悩んで、存続の危機という認識を持っておられます。これを打開するには、地域の他の奉仕団体とも連携を取り、地域のニーズを汲み上げ、地域と関わることによってロータリーを知って貰い、活動を理解していただくことです。そして、楽しいロータリークラブライフを築くことです。未来の宝である地域の子供達と関わる方策を見いだして行こうとされているのは、大変良いことだと思います。

10月9日の**東京新都心RC**では、27階から新宿中央公園内に当クラブが小学生と一緒に作った「新都心スマイル&ドリームガーデン」の改装工事を見ることが出来ました。盲導犬事業助成も行っておられて、そこからの繋がりや、ブラインド・サッカーの実況中継を行う機器を寄贈することを決められているそうです。カンボジアには「新都心スクール」を建てられ、訪問された様子が週報にも掲載されていました。グローバル補助金を使ってネパールに井戸を掘ったこともお

聞きしました。ブランディングに注力されたクラブで、会員増強目標の70人に達したら、ウェイティングが出来る様なクラブにしていこう、というアイデアを持っていらっしゃいました。充実したHPを持ち、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)17名を誇る、特色を持ったクラブでした。当日、16、17番目のPHS認定授与を、私の手で行うことが出来ました。



10月10日は、**東京麹町RC**と**東京紀尾井町RC**の合同例会でした。麹町は、実は私が就職した企業の東京事務所があったところで、とても懐かしい思いがします。会長所信は「11月のインターシティ・ミーティングを全会員で成功させよう」とのことで、若林会員がガバナー補佐に任命され、IMを当クラブが主管することになったので、オリンピック・パラリンピックを取り上げて、そこに注力することでした。東北支援でも、福島南RCとの8年に亘る協力体制も、見直しの時期に入っているそうです。その他にも、福島食材の定期購入、子供食堂への福島食材の寄付等地区補助金を使った活動をされており、また今後はバリ島での医療支援での国際奉仕活動も検討されているとお聞きしました。合同例会は、人数も大きく、大変楽しいものになりました。

東京紀尾井町RCは、会長所信「ロータリーを楽しもう」という言葉を掲げていらっしゃいますが、会員数の伸び、女性会員数の伸びを見ても、当地区のモデルクラブと言えます。数か月前にビジターでお邪魔しましたが、素晴らしいクラブだと感じました。そしてまた今日は進化していると感じ、皆の顔が明るいのに驚きました。急激な増員も、自然に紹介者が出て来るという

理想的なもので、非常にバランスが取れているように見受けられました。会員歴の浅いメンバーが多くなったことで、古参会員が面倒を見るなど、色々工夫されていることが分かりました。会員数100名を目指していますが、増強されて体力もついてきているので、更なる奉仕活動体制の変革をお願いしたいと思います。会員が奉仕活動の現場に出て行く等、工夫されていることはとても良く分かりました。小さいクラブが採る5部門制を敢えて選択されているのも、面白いと思いました。人が集まれば、周囲に与える影響も大きくなって来ます。地区を引っ張って行く存在になっていただきたいと期待しております。



ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

原田 令子 (東京城北)

ベネファクター

西川 昭雄 (東京江戸川)

米山功労者・メジャードナー

- 73回 鈴木 孝雄 (東京池袋)
- 15回 清水 卓治 (東京本郷)
- 14回 櫻井 権司 (東京武蔵野)
- 13回 野崎 一重 (東京東村山)
- 10回 大久保裕二郎 (東京リバーサイド)

米山功労者・マルチプル

- 6回 加藤 勇夫 (東京池袋) 宮崎 慶男 (東京福生)
- 糸洲 昇 (那覇西)
- 4回 羅山 能弘 (東京江北)
- 3回 小根澤美和 (東京リバーサイド)

米山功労者

- 森 公高 (東京) 佐藤 茂 (東京麹町)
- 加藤 正美 (東京新宿) 渡邊 浩 (東京江北)
- 細沼 謙久 (東京江北) 田中 久光 (浦添)

9月30日分まで 敬称略、順不同

編集者:遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属

3種類の野生型ポリオウイルスのうち2種類を根絶



世界ポリオデー(2019年10月24日)にWHOは、3型の野生型ポリオウイルスが世界で根絶されたことを発表しました。これは、天然痘と2型の野生型ポリオウイルスの根絶に続く人類の歴史的偉業です。

会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数	2,990名
(内女性)	202名
2019年9月末日正会員数	3,040名
(内女性)	211名
会員増減数	50名
入会者数	61名
退会者数	11名

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

[哀悼] 謹んで哀悼の意を表します



東京江戸川ロータリークラブ

大澤 恒也 (おおさわ つねや) 名誉会員

逝去日 2019年9月28日 享年103
入会日 1964年7月30日

日本化機工業(株) 名誉会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

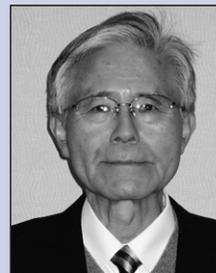


東京足立ロータリークラブ

下山田 恭男 (しもやまだ やすお) 会員

逝去日 2019年10月14日 享年64
入会日 2014年4月1日

インターテック(株) 社長
米山功労者



東京青梅ロータリークラブ

松永 勇 (まつなが いさむ) 会員

逝去日 2019年10月21日 享年76
入会日 1989年10月24日

松永公認会計士事務所 所長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

ロータリーの元奨学生であり、国連難民高等弁務官として世界を舞台に活躍された緒方貞子氏のご逝去がご遺族より報告されました。心よりご冥福をお祈りいたします。